

# 令和6年度 新規事業候補箇所説明資料

## 一般国道2号 だい どう す ぜん じ 台道・鑄銭司拡幅

令和6年3月7日

国土交通省 中国地方整備局

# 1. 位置図

- 一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。
- 一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅は、山口県防府市台道から山口市鑄銭司に至る延長2.8kmの道路である。



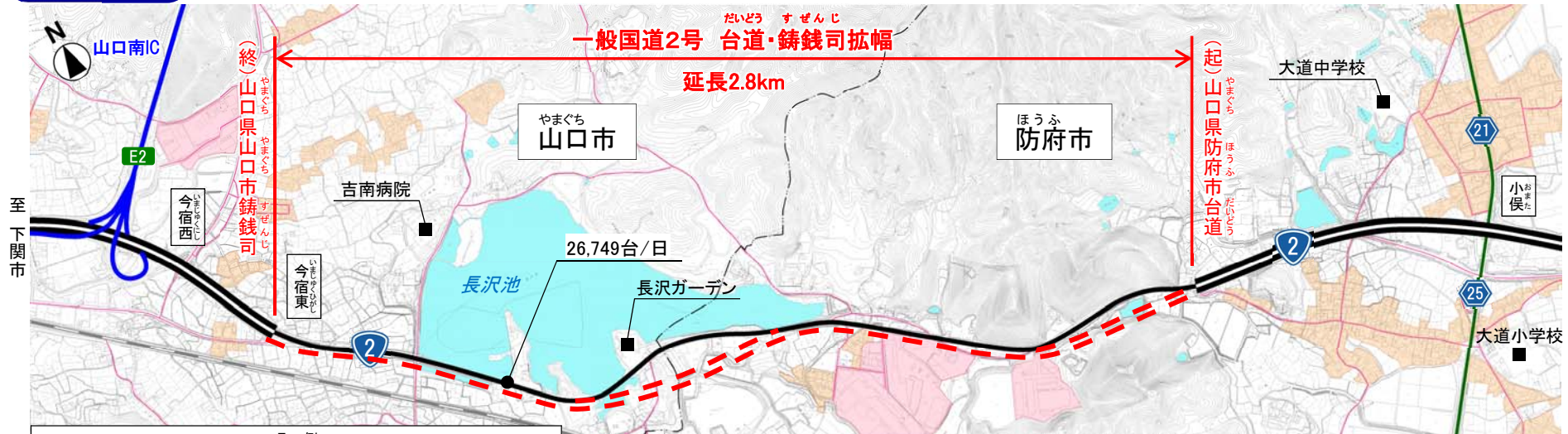
凡 例	
高規格道路 (開通済み) (事業中)	直轄国道 (開通済み)
	補助国道 (事業中)
	該当区間

だいどう すぜんじ  
台道・鑄銭司拡幅  
延長2.8km

# 2. 事業概要

- ・一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅は、延長2.8km、設計速度80km/h、完成4車線で事業費約240億円。
- ・令和6年2月に都市計画決定(変更)。

## 事業位置図



凡 例			
	対象区間		車線数 (2車線/4車線)
	高速道路		市町村境界線
	一般国道		市街地 (集落)
	主要地方道		工業団地
	一般都道府県道		主な施設
	その他道路		交通量 (R3全国道路・街路交通情勢調査)

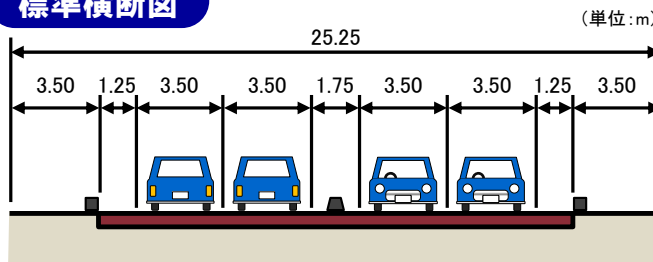
## 計画概要

起終点	やまぐち ほうふ だいどう 山口県防府市台道～ やまぐち やまぐち すぜんじ 山口県山口市鑄銭司
計画延長	2.8km
設計速度	80km/h
車線数	4車線
計画交通量	約36,800台/日
	乗用車 約22,300台/日
	小型貨物 約5,100台/日 普通貨物 約9,400台/日
全体事業費	約240億円

## 地元調整の経緯等

- 都市計画決定等の状況
  - ・R 4年 3月：第1回国道2号防府山口市域道路整備検討会
  - ・R 4年 9月：第2回国道2号防府山口市域道路整備検討会
  - ・R 4年10月～R 5年 1月：意見聴取
  - ・R 5年 2月：第3回国道2号防府山口市域道路整備検討会
  - ・R 6年 2月：都市計画決定(変更)・告示
- 地域の要望等
  - ・R 5年 4月：山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会が国土交通省に事業化要望
  - ・R 5年 7月：山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会が国土交通省に事業化要望
  - ・R 5年11月：山口県知事が国土交通省に事業化要望
  - ・R 5年11月：山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会が国土交通省に事業化要望
  - ・R 6年 1月：山口県知事・山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会が国土交通省に事業化要望

## 標準横断面図

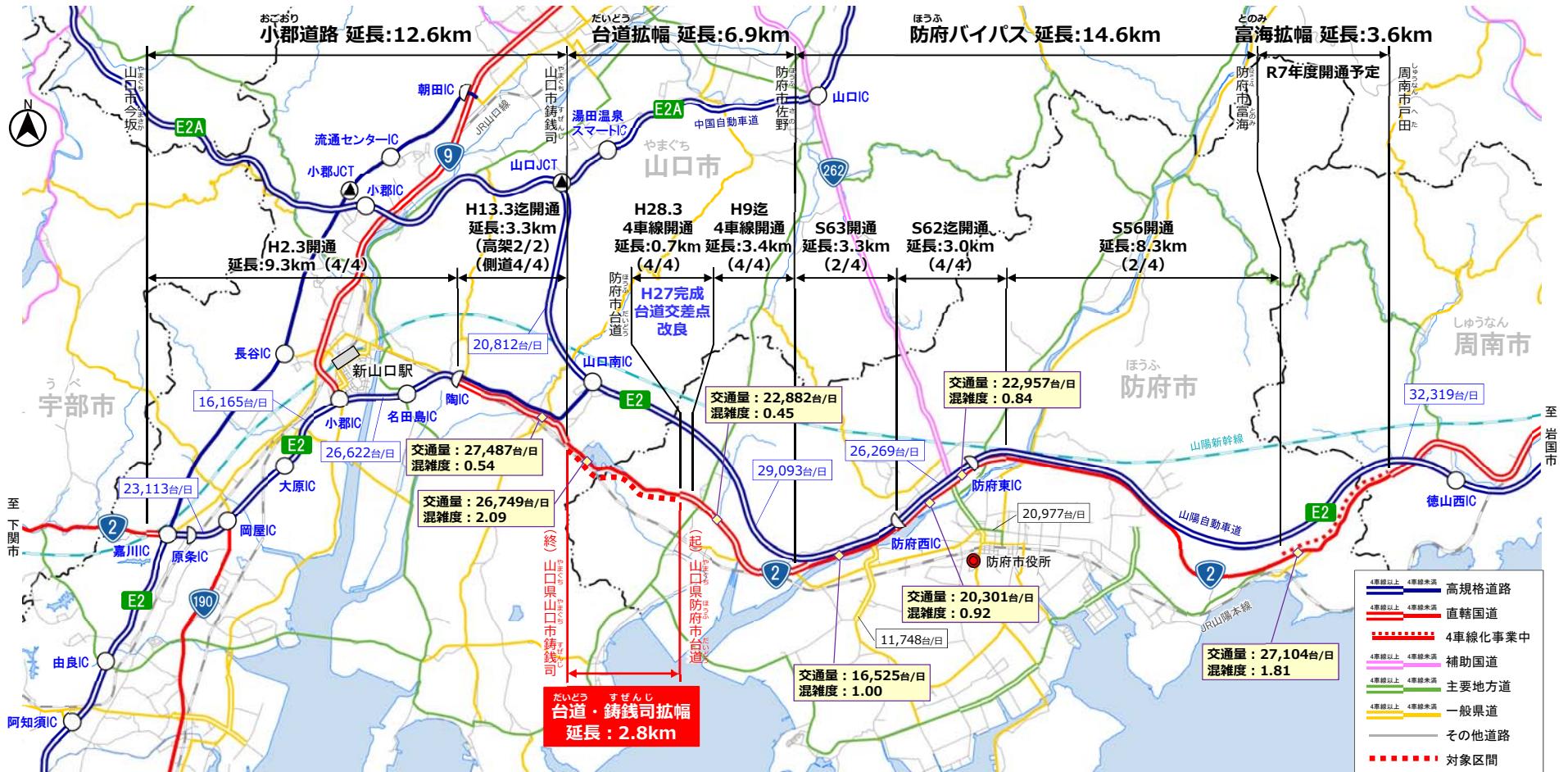




# 3. 現状と課題

## 現状 防府市～山口市を結ぶ東西道路ネットワークを強化するために必要な道路

- 防府市～山口市の国道2号は、防府バイパス、台道拡幅(防府市佐野～台道間)、小郡道路と順次整備を進めてきており、対象区間は4車線区間に挟まれた2車線区間であるため、車線の絞り込みや沿道出入り交通により旅行速度が低下。
- 防府市台道～山口市銕銭司間の4車線化整備により幹線道路の速達性・安全性の向上、地域の経済活動や救急医療活動等の支援を図る必要がある。



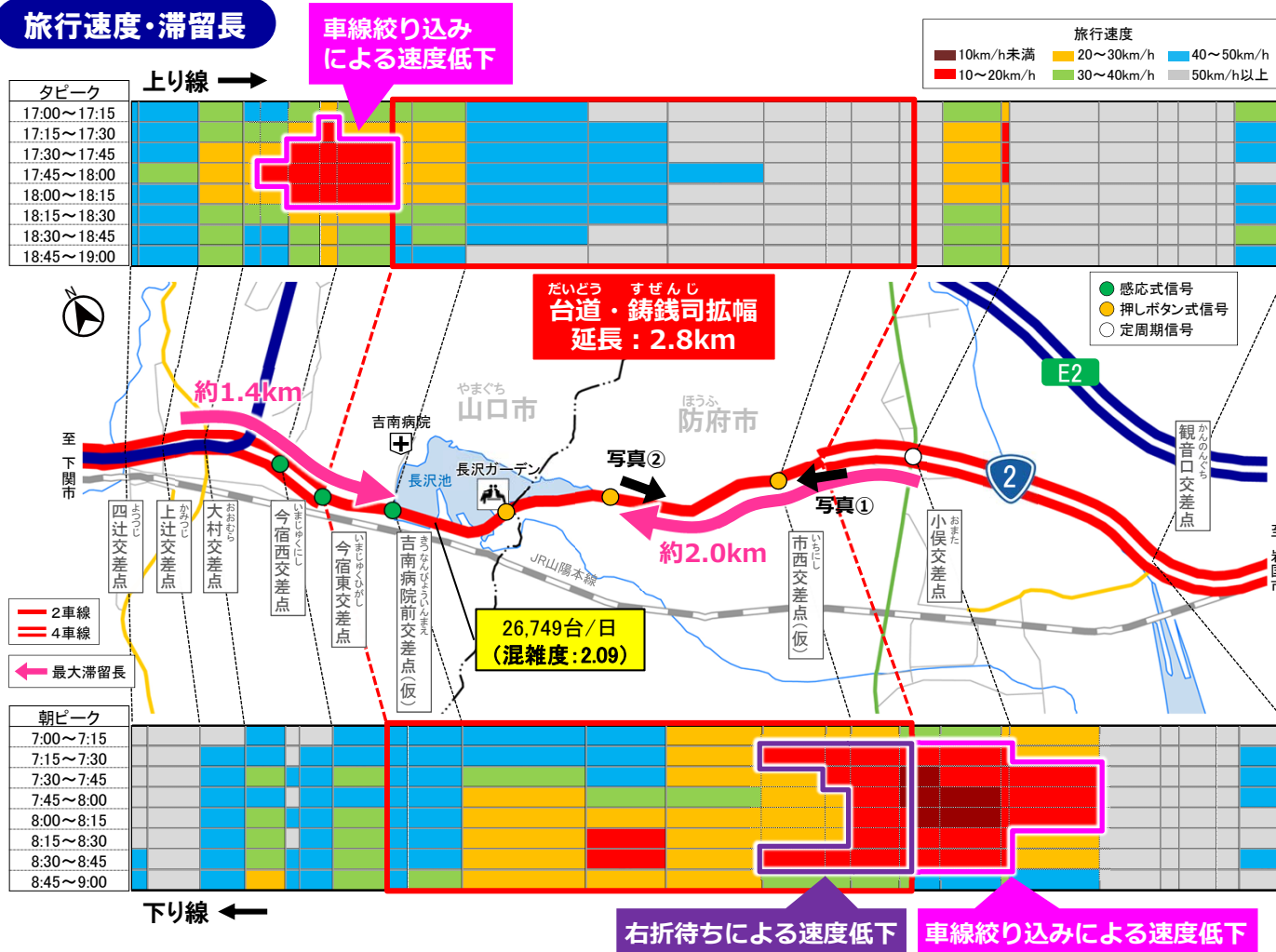
資料: R3全国道路・街路交通情勢調査

# 3. 現状と課題

## 課題① 車線絞り込み等によるボトルネックの解消

- 対象区間は防府市と山口市を結ぶ主要幹線道路であり交通量が多く、2車線道路であることから、ボトルネックとなる車線の絞り込み区間及び右折待ちの車両により旅行速度が著しく低下。
- 朝夕ピーク時において、対象区間付近を先頭に最大約2.0kmの滞留が発生しており、交通の円滑化に課題がある。

### 旅行速度・滞留長



写真①  
車線変更車両により後続車両がブレーキ  
⇒旅行速度が低下し滞留が延伸



写真②  
右折待ちにより後続車両の滞留が延伸

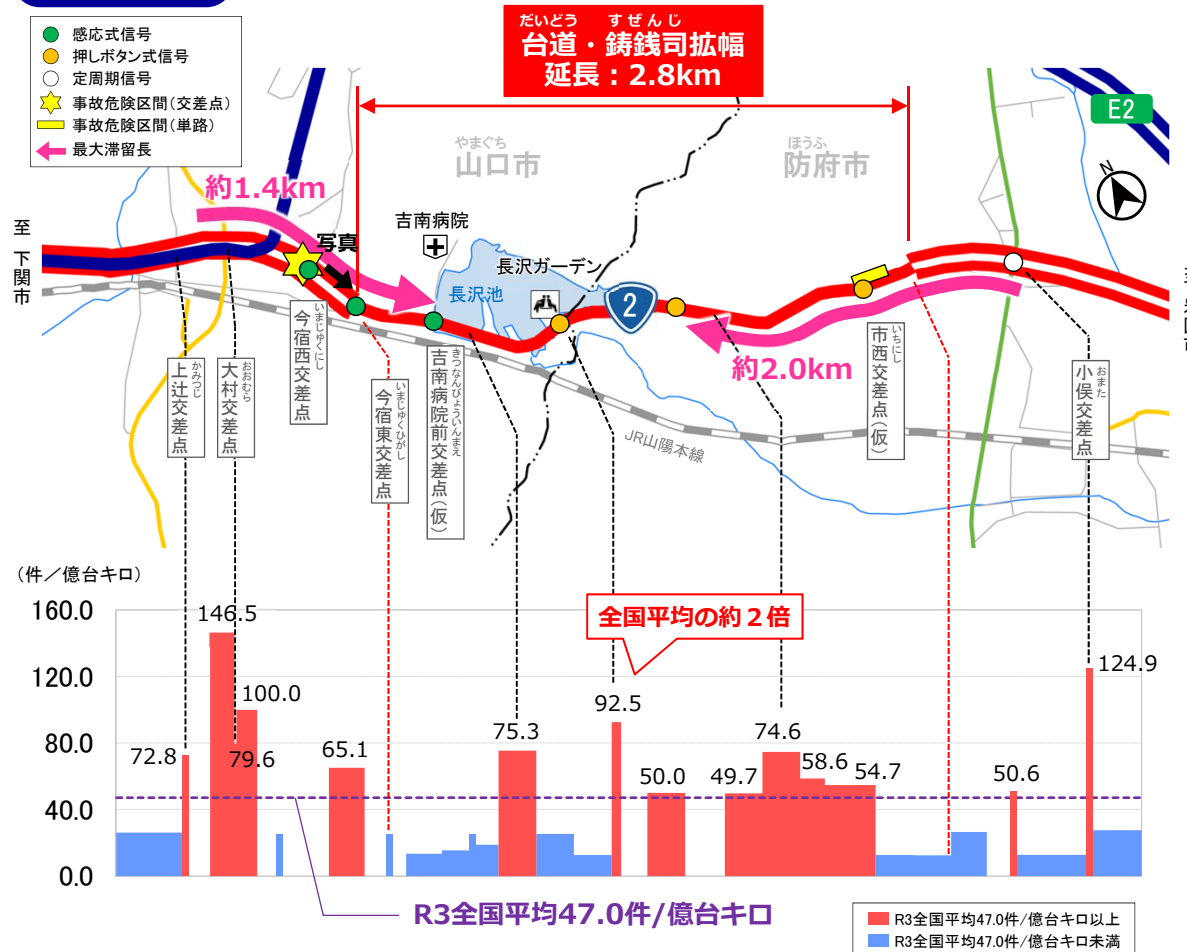
資料: 旅行速度: ETC2.0プローブデータ(R4.6平日平均)、最大滞留長: R4.6.16交通実態調査結果、交通量・混雑度: R3全国道路・街路交通情勢調査

# 3. 現状と課題

## 課題② 幹線道路の安全性

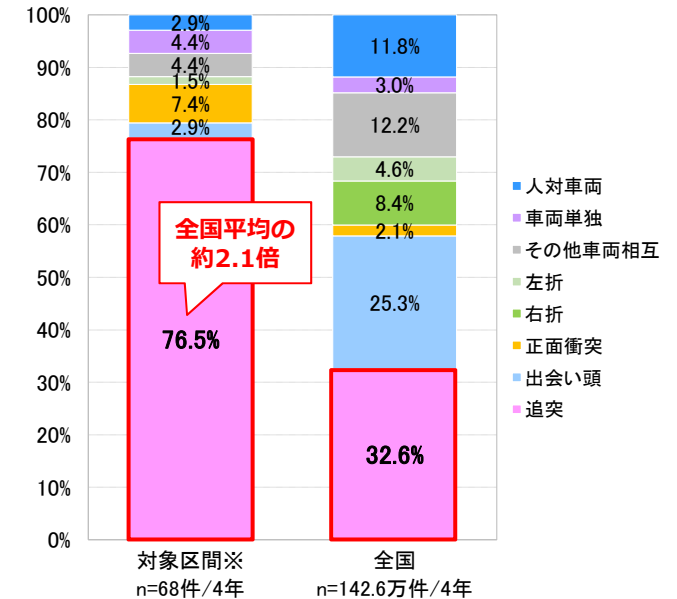
- ・対象区間は、車線の絞り込みや沿道出入り車両等によって旅行速度が低下し、追突事故が多発している。
- ・死傷事故率は全国平均を上回る箇所が多く、対象区間を含む滞留発生区間には事故危険区間が2箇所存在し、安全性に課題がある。

### 死傷事故率



資料/死傷事故率: 交通事故・道路統合データベース(H30-R3)、最大滞留長: R4.6.16交通実態調査結果

### 事故類型



資料/交通事故・道路統合データベース(H30-R3)



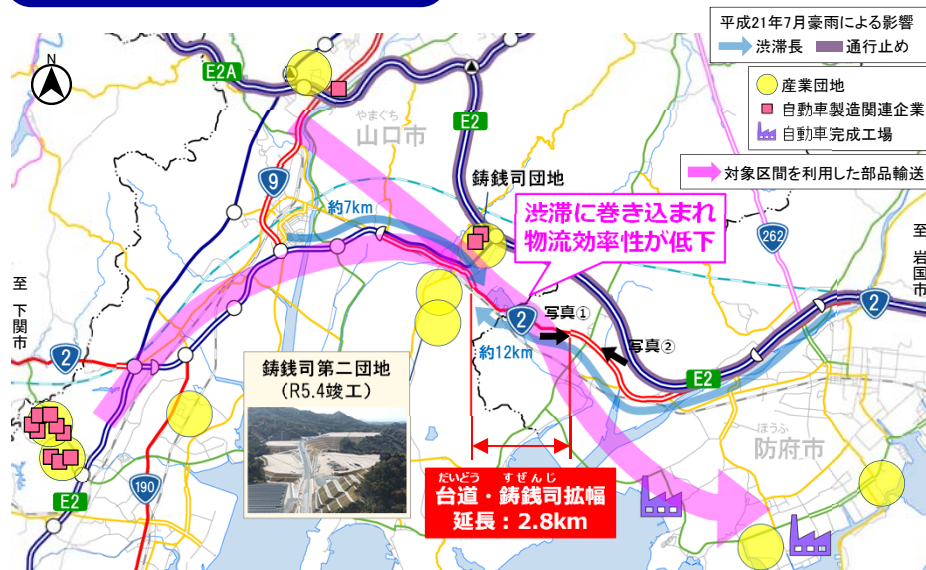


# 3. 現状と課題

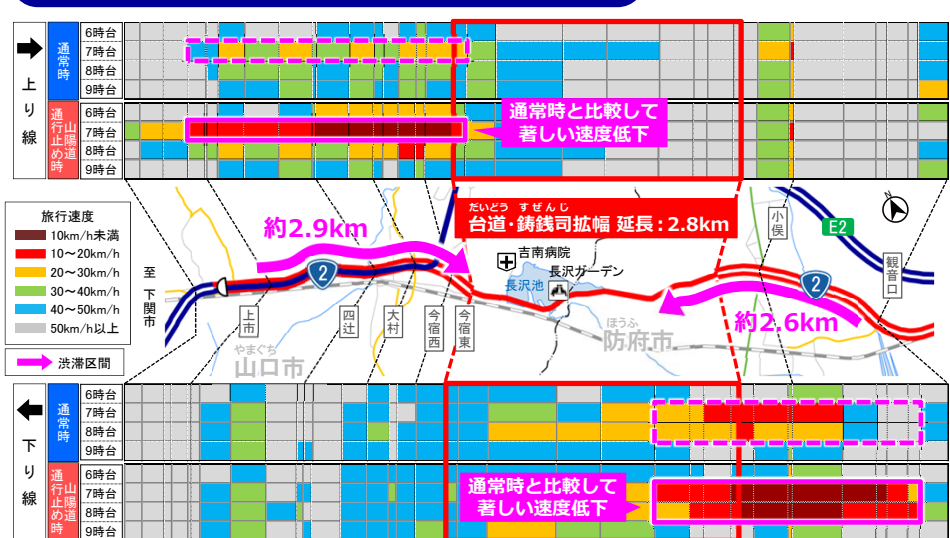
## 課題③ 道路ネットワークの信頼性(地域経済活動)

- 対象地域には、中国地方を代表する自動車完成工場や自動車製造関連企業をはじめとする多くの工場等が立地しており、国道2号を利用して部品の輸送等が行われている。
- 平成21年7月豪雨災害では山陽自動車道等が通行止めとなり、国道2号に交通が集中したため、対象区間がボトルネックとなり激しい渋滞が発生。部品供給が遅れるなど、地域経済に影響を及ぼした。

### 自動車関連工場の立地状況



### 山陽自動車道通行止め時の旅行速度状況



資料/ETC2.0プローブデータ(通常時:R2.4~R3.3平日平均、山陽道通行止め時:R2.7.8)  
※渋滞区間はETC2.0プローブデータの走行速度が20km/h未満の区間長



### 地域の声

- 令和3年の積雪等による山陽自動車道の通行止め時は、交通が国道2号に流れて渋滞が発生し、製品の到着が遅れた。国道2号が4車線化で整備されれば、山陽自動車道の代替路となり、円滑な交通が確保されることが期待される。
- 自動車工場はジャストオンタイムで稼働していることから、部品輸送の定時性を向上させるため、道路の整備を望む。当該区間の整備により、輸送のスケジュールについて、過剰なリスクを見込まなくてよくなる。

資料：R4企業等ヒアリング調査結果

# 3. 現状と課題

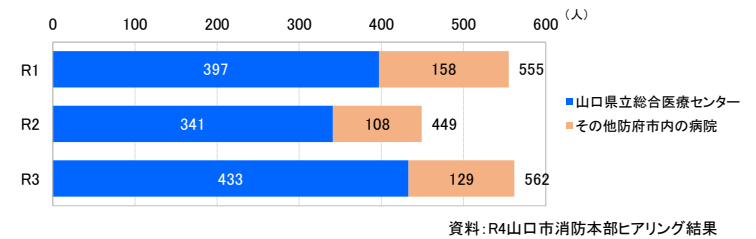
## 課題④ 道路ネットワークの信頼性(救急医療活動)

- ・防府市には、山口・防府保健医療圏で唯一の三次救急医療施設が立地しており、医療機能の強化及び国道2号近隣への移転、アクセス道路の新たな整備が計画されている。
- ・対象区間は片側1車線道路のため、救急搬送時には対向車線にはみ出して徐行しながら追い越す必要があり、速達性が低下。
- ・渋滞や交通規制の発生により、確実な救急搬送に課題がある。

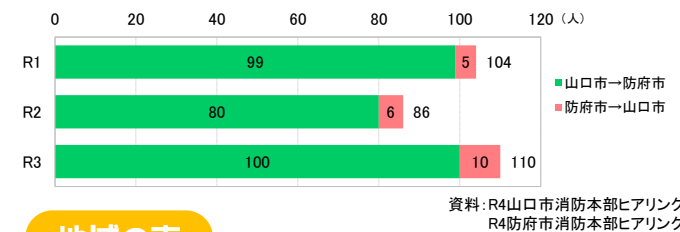
### 救急医療施設の立地・救急搬送状況



### 山口市→防府市の救急搬送人数



### 対象区間を利用した救急搬送人数

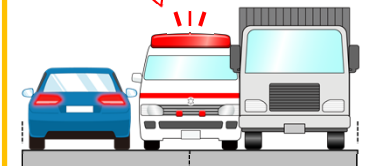


### 地域の声

- ・片側1車線区間の救急搬送時は、走行車線及び対向車線、双方の車両の協力と配慮が必要となる。
- 車線を跨ぐ走行では、対向車との接触に十分注意する必要があるため、徐行運転となる。

資料：R4企業等ヒアリング調査結果

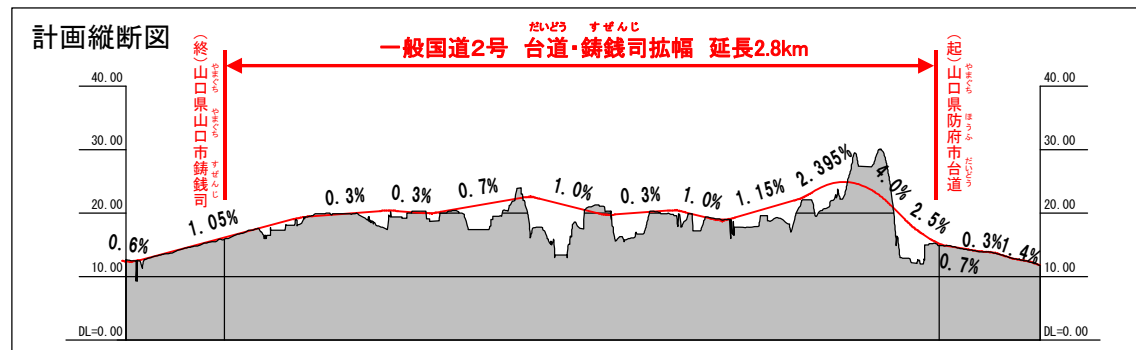
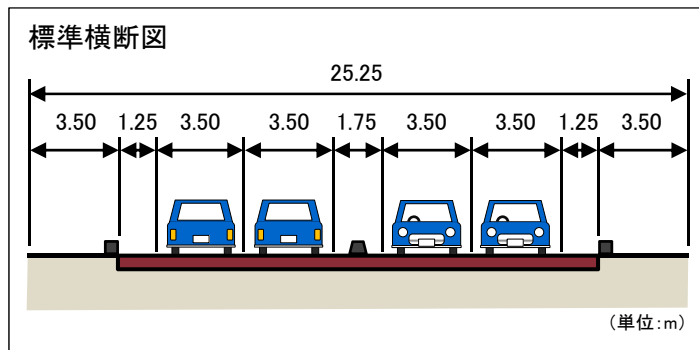
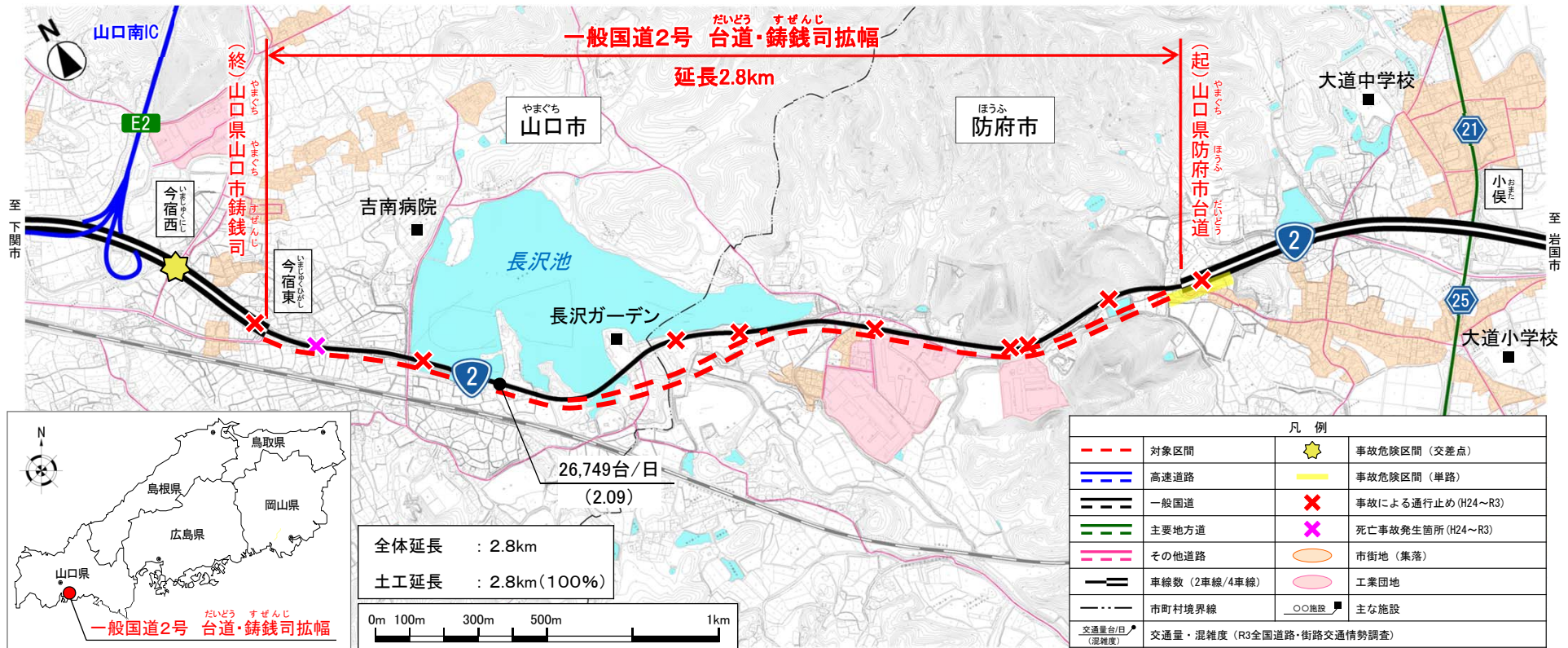
対向車線にはみ出し、徐行しながら追い越し





# 4. 事業計画

・円滑な道路ネットワークを構築し、速達性及び安全性の向上、信頼性の向上による地域の経済活動及び救急医療活動の支援のため、4車線化整備とした。



# 5. 整備効果

・幹線道路の速達性及び安全性の向上、信頼性の向上による地域経済活動及び救急医療活動の支援等。



## 整備効果

### 【幹線道路の速達性の向上】

当該道路の整備により、連続した4車線道路となり、**交通混雑が緩和**する

円滑な道路ネットワークが形成され、**速達性が向上**

#### 【平均旅行速度】

現況 約28km/h → 整備後 約52km/h  
(約24km/h向上)

※現況: R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて算出  
整備後: R22将来交通量推計結果より算出

#### 【混雑度】

現況 2.09 → 整備後 0.70 (約7割減少)

※現況: R3全国道路・街路交通情勢調査  
整備後: R22将来交通量推計結果より算出

### 【幹線道路の安全性の向上】

当該道路の整備により、交通混雑による旅行速度低下が解消し、**交通事故が減少**する

円滑な道路ネットワークが形成され、**安全性が向上**

#### 【死傷事故件数】

現況 68件/4年 → 整備後 約37件/4年  
(約5割減少)

※現況: ITARDAデータ(H30-R3)  
対象区間前後の滞留発生区間(小保交差点～上辻交差点)で算出  
整備後: 近隣の直轄国道改築事業における死傷事故件数の減少率を用いて算出

### 【道路ネットワークの信頼性向上による地域経済活動支援】

当該道路の整備により、連続した4車線道路となり、**時間信頼性が向上**する

物流の効率化が図られ、**地域の経済活動を支援**

#### 【鑄銭司団地～自動車完成工場の所要時間】

現況 約21分 → 整備後 約18分 (約3分短縮)

※現況: R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて算出  
整備後: 上記のうち対象区間はR22将来交通量推計結果より算出

### 【道路ネットワークの信頼性向上による救急医療活動支援】

当該道路の整備により、山口・防府保健医療圏で唯一の**三次救急医療施設へのアクセスが向上**する

救急搬送の速達性・確実性が確保され、**救急医療活動を支援**

#### 【山口市南消防署～

山口県立総合医療センターの所要時間】

現況 約28分 → 整備後 約25分 (約3分短縮)

※現況: R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて算出  
整備後: 上記のうち対象区間は規制速度60km/hで算出

# 6. 事業の効果

・総費用は177億円、3便益による総便益は218億円で、費用便益比は1.2である。

## ▶投資効果(3便益による費用便益比) (億円)

項目	全体事業
<b>費用 (C) ※1</b>	177
<b>事業費</b>	164
<b>維持管理費</b>	13
<b>便益額 (B) ※1</b>	218
<b>走行時間短縮便益</b>	202
<b>走行経費減少便益</b>	10
<b>交通事故減少便益</b>	5.0
<b>費用便益比</b>	<b>1.2</b> <b>1.8 [2%] ※2</b> <b>2.2 [1%] ※2</b>

<b>経済的内部収益率 (EIRR)</b>	<b>5.2%</b>
------------------------	-------------

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

- ・総費用、総便益については、基準年(R5年)における現在価値を記入。
- ・総便益は、3便益(走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益)
- ・費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

※1 現在価値算出のための社会的割引率:4%

※2 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率